



美味しい青森りんごのふるさと

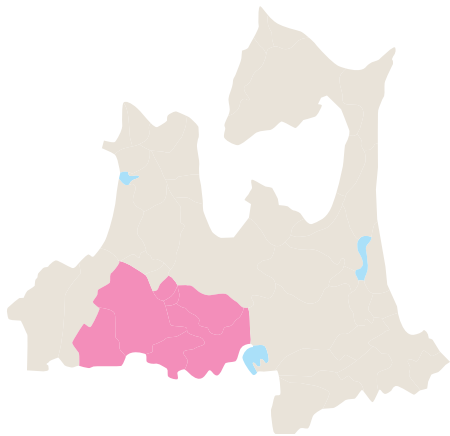
中南地域の桃



中南地域県民局地域農林水産部



黒石市から望む岩木山と津軽平野



中南地域は、青森県津軽地域の中部から南部に位置する弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村の7市町村で構成されています。

内陸にあり、西部に岩木山、東部に八甲田山連峰がそびえ、南部には白神山地を抱え、中央には津軽平野が広がっています。



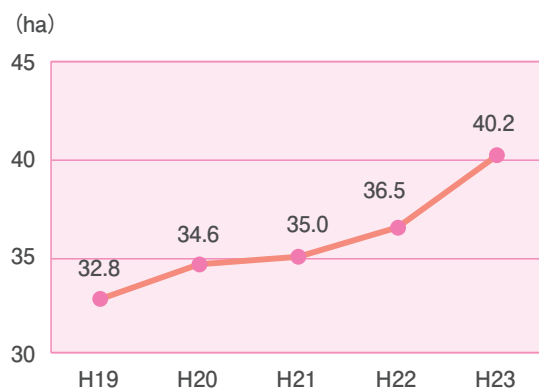
夏季は20℃前後でしのぎやすい気温が続き、冬季は北西の季節風が強く寒冷で、積雪期間は12月～3月までと長くなっています。

農業は津軽平野とその周辺の丘陵地帯で盛んに行われ、りんごをはじめとした果物、米や野菜などの農産物の生産拠点となっています。特にりんごは青森県の栽培面積の66%（H23:14,314ha）を占める大産地となっています。

中南地域の桃栽培は、一部のりんご農家が台風シーズン前に収穫期を迎え、りんごの作業用具が活用でき、管理方法が似ていることから、りんご栽培技術を駆使しながら桃の栽培に取り組んでいます。

また、昼夜の寒暖差の大きい土地柄で、美味しく品質の良い桃が収穫できることから、栽培に取り組む農家が増えています。

まだ、栽培面積、生産量は、主産地には及びませんが、管内農協を中心に年々増加しています。



中南地域の桃栽培面積の推移



収穫期を迎えた桃園地

美味しい 桃をつくる

桃の1年

1

1月下旬～3月

整枝・剪定

桃栽培の最初の仕事。良い桃を実らせるため、余分な枝を切り取り、木の中まで日光が入るように樹の形を整えます。



剪定技術研修会

- 弘前城雪灯籠祭り (弘前市)
- 冬のごみせまつり (黒石市)
- 旧正マッコ市 (黒石市)
- みんなの雪だるま (黒石市)
- 黒石じょんから宵酔酒まつり (黒石市)
- 平賀はしご酒まつり (平川市)
- 乳糖ヶ滝氷祭 (西目屋村)
- 弥生の里風揚げ大会 (田舎館村)



弘前城雪灯籠祭り (弘前市)

岩木山スキーフェスティバル (弘前市)

弘前さくらまつり (弘前市)

黒石桜まつり (黒石市)



3月～7月中旬

摘蕾・摘花・摘果

余分な蕾、花や小さい実や形の悪い実を摘み取り、養分の浪費を防ぐことで果実や樹の生育を良くします。



摘蕾技術研修会



摘花技術

5月～9月

草刈り

草を刈り取り、草と樹の土中の水分やい合いを防ぐことで、樹の生育を良くし

- 全日本リンゴ追分コンクール (弘前市)
- 弘前りんご花まつり (弘前市)
- 白岩まつり (平川市)
- 大鱈温泉つづじまつり (大鱈町)
- 田植え体験ツアー (田舎館村)

お祭り & イベント



弘前さくらまつり (弘前市)



黒石

桃は苗木を植えてから2年～3年くらいで果実が成り、7年～9年で果実生産のピーク（10アールあたりの収穫量で2トン程度、果実数で6,000個～7,000個程度）を迎えます。

桃は永年作物のため、誤った栽培管理をするとその年の生育ばかりでなく、翌年にも悪い影響を及ぼします。このため、生産者は美味しい桃の生産に向けて、日々栽培技術の研鑽に努めています。

7

8

9

10

11

12



養分の奪
ます。

8月上旬～9月中旬

収 穫

「あかつき」「川中島白桃」
など美味しい桃が食べ頃を迎え、収穫されます。



7月下旬～8月下旬

着色手入れ

果実に密着した葉を摘み取り、色つきを良くします。



ことで、実った



研修会



摘果技術研修会



適期収穫研修会



世界一扇ねぶた
平川ねぶた（平川市）



黒石よされ（黒石市）



津軽花火大会（藤崎町）

弘前ねぶた祭り（弘前市）

黒石ねぶた祭り（黒石市）

黒石よされ（黒石市）

ねぶた祭り（平川市）

津軽花火大会（藤崎町）

ねぶた祭り（田舎館村）

りんご研究所参観デー（黒石市）

黒石こみせまつり（黒石市）

暗門祭（西目屋村）

弘前・白神アップルマラソン（弘前市）

弘前城菊と紅葉まつり（弘前市）

中野もみじ山ライトアップ（黒石市）

稲刈り体験ツアー（田舎館村）



中野もみじ山ライトアップ（黒石市）

弘前市場まつり（弘前市）

黒石りんごまつり（黒石市）

ふじさき秋まつり（藤崎町）

収穫感謝祭&シクラメン市（田舎館村）



中南地域の桃

全国的に桃が出回る時期は7月から8月ですが、青森県は北国の冷涼な気候と複数の品種を利用して、8月上旬から9月下旬まで収穫、出荷している産地です。

その中で、お盆頃に収穫する「あかつき」、9月上旬から収穫する「川中島白桃」が主力品種となっています。収穫された桃は、すみやかに選果場に運ばれ、大きさや品質毎に選別、梱包され、県内外の青果市場に出荷されます。

当地域産の桃は、スーパー等の量販店や地元の産地直売所で取り扱われていますので、是非ご賞味ください。

桃の収穫・出荷時期						
品種名	8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
あかつき						
川中島白桃						

その他の作付品種

あまとう2号、浅間白桃、黄金桃、ゆうぞら、だて白桃、光月





あかつき

収穫始めはお盆前後から。
果重は250～300グラム、果肉が
緻密で果汁が多く、甘みとコクと
酸味のバランスの良さが特徴です。



川中島白桃

収穫始めは8月最下旬から。
果重は300～400グラム、全体的
に濃い紅色で、果汁も多く濃厚な
甘みが特徴です。

桃の 美味しい食べ方

冷蔵庫で2～3時間冷やすと美味しく食べられます。なお、
冷やしすぎは甘さを少なく感じるので気をつけましょう。
また、硬い桃は常温で数日間おくと柔らかくなります。

中南地域の主な桃生産農協

つがる弘前農協 販売部 生産園芸課
〒036-8381 青森県弘前市独狐山辺81
TEL：0172-95-2285 FAX：0172-95-3220

津軽みらい農協 平賀販売センター
〒036-0115 青森県平川市新館藤巻55-1
TEL：0172-44-8004 FAX：0172-44-8871

津軽みらい農協 黒石販売センター
〒036-0516 青森県黒石市相野199
TEL：0172-52-5113 FAX：0172-52-3128

相馬村農協 販売課
〒036-1503 青森県弘前市五所野沢23-1
TEL：0172-84-3293 FAX：0172-84-3737



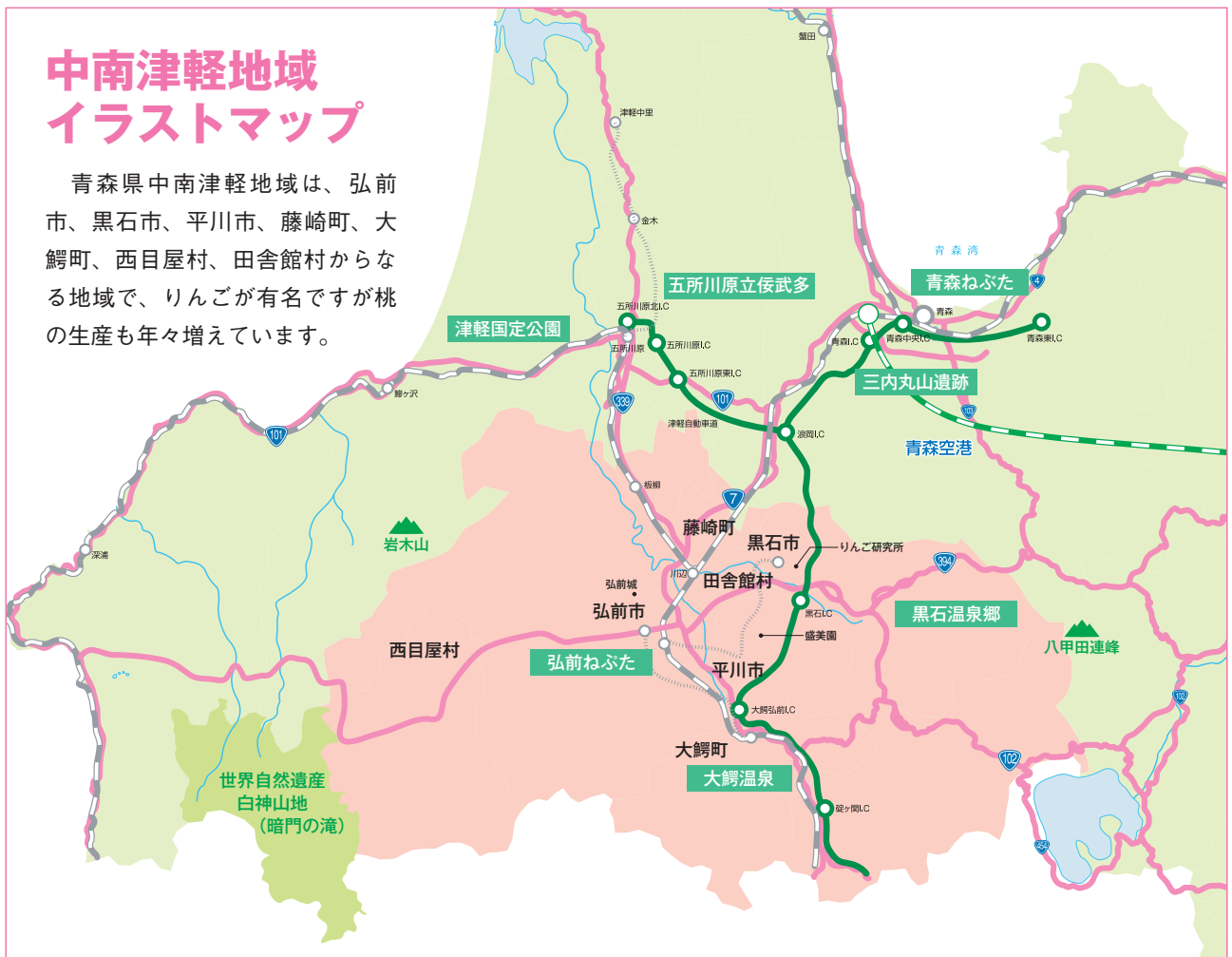
平成26年3月発行

青森県中南地域県民局地域農林水産部

〒036-8345 青森県弘前市蔵主町4
TEL：0172-33-2903
FAX：0172-34-4390

中南津軽地域 イラストマップ

青森県中南津軽地域は、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、大鰐町、西目屋村、田舎館村からなる地域で、りんごが有名ですが桃の生産も年々増えています。



弘前市

日本一の桜の名所「弘前さくらまつり」をはじめ、「弘前ねぶたまつり」など、四季折々の祭りは多くの観光客で賑わいます。「弘前産りんご」は生産量日本一を誇っており条例で毎月5日を「りんごを食べる日」として定めています。



黒石市

青森県のほぼ中央に位置する米とりんごの名産地。十和田湖、八甲田方面、白神山地方面への観光アクセスにも優れています。また、全国で唯一の「りんご研究所」があり、130年にわたる青森県りんごを支えてきました。



平川市

耕作面積の約4割をりんごが占めるりんご地帯。旧家や蔵が多く、手入れされた庭園や生垣と調和し、美しい農村景観を形成しています。また、市内に多くの温泉があり、様々な泉質や効用があります。



藤崎町

全国一の生産量を誇るりんご品種「ふじ」の生まれ故郷です。JR五能線からは、りんご園地を眺望でき、収穫期には岩木山を背景に真っ赤なりんごを、春にはりんごの花を楽しむことができます。



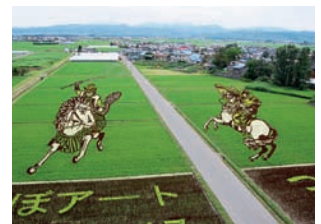
大鰐町

津軽の奥座敷。スキー場と温泉とりんごを中心に、快適で愛されるまちづくりを目指しています。大鰐のりんごは、味・香り・色など品質の高さに定評があります。



西目屋村

世界自然遺産白神山地の麓。冷涼な気候から小玉で実の締まったりんごが特徴で、「白神りんご」としてPRしています。秋には絶景の紅葉と穫れたてのりんごが同時に楽しめます。



田舎館村

田んぼアートの村として知られ、国内のみならず海外のメディアの注目も集めています。米とりんごのほか、垂柳遺跡が有名で、田舎館村埋蔵文化財センターでは、弥生時代の水田遺構を展示しています。